

令和2年10月1日に 国勢調査を実施します



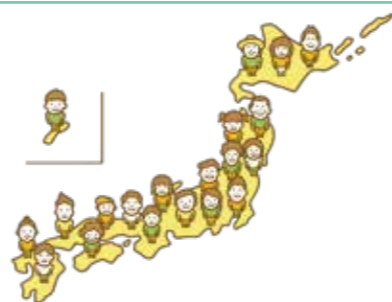
開始から100年を迎える国勢調査

わが国では100年前から国勢調査の結果を国や地域が進む道筋を立てるために活用してきました。あなたと、日本にいる全員が希望を描ける未来へ。開始から100年を迎える令和最初の国勢調査が始まります。

日本に住むすべての人と世帯が対象

5年に一度の最も重要な統計調査です

「日本に住む人や世帯」について知ることで、生活環境の改善や防災計画など、私たちの生活に欠かせないさまざまな施策に役立てられる大切な調査です。



国勢調査の概要

国勢調査は、日本の未来をつくるために必要な大切な調査です。国や地方公共団体が正確な統計に基づいて、公正で効率的な行政を行うためには、日本に住むすべての人、世帯に

漏れなく、正確な回答をしていただく必要があります。

調査の結果から得られる人口は、我が国の人口の基本となる法定人口として、選挙区の区割りや地方交付税の算定基準などに利用されます。

また、男女、年齢別人口、昼間人口、世帯構成(高齢者のいる世帯など)、産業別の人口などの統計は、国や地方公共団体の社会福祉、雇用、環境整備、災害対策などをはじめとして、あらゆる施策の基礎データとして利用されます。民間企業でも、さまざまな分野で幅広く利用されています。

調査の期日

令和2年10月1日現在

調査の対象

令和2年10月1日現在、日本国内に普段住んでいるすべての人(外国人を含む)および世帯

調査事項

- 世帯員について(出生の年月、就業状態など15項目)
- 世帯について(世帯員の数など4項目)

〈調査結果の主な活用例〉

- ・ 少子高齢化関連
- ・ 防災関連
- ・ 地域活性化関連
- ・ 将来人口、世帯数の推計
- ・ 学術研究
- ・ 企業などでの活用

(電力需要など各種需要の把握)



国勢調査の歴史

国勢調査は、国の最も基本的で重要な統計調査として、大正9(1920)年に第1回が実施されました。

それから100年の歳月が流れ、時代も大正から昭和、平成、そして令和へと移り変わっていきましたが、国勢調査の重要性に変わりはありません。



国勢調査の流れ

9月14日(月)から30日(水)にかけて、調査員が皆さんの自宅の郵便受けに調査書類を投函して配布します。調査員は訪問しませんので、回答は郵送もしくはインターネットでお願いします。調査完了後は、すべての調査票が総務省統計局に集められ、独立行政法人統計センターで集計されます。

注意:基本的に、調査員は訪問しません

国勢調査の日程



結果について

調査の結果は、最も早い人口速報集計が令和3年6月に公表され、その後、年齢別世帯の状況などを集計した「人口等基本集計」が令和3年11月までに公表される予定です。

国勢調査実施時の新型コロナウイルス感染症対策について

新型コロナウイルス感染症は、いまだに終息が見通せない状況です。国勢調査については、令和2年10月1日を調査日として実施するため、感染予防対策を徹底し、世帯と調査員が対面しない完全非接触の調査方法に変更します。具体的には、世帯の人をお呼びすることなく、調査書類は郵便受けやドアポストなどに入れて配布する完全ポスティング型で実施します。

回答方法も、インターネットによる回答か、紙の調査票の郵送提出を前提とし、やむを得ない状況などによる個別の依頼がない限り調査員は回収に伺いません。また、やむを得ず世帯の人と接触する際には、マスクを着用の上、できるだけ距離をとるよう指導しています。

市民の皆さんおよび調査員、双方の健康を守りながら着実に調査を行います。



四日市市国勢調査
ホームページ